

会山行報告書

| | | | |
|--|---|------|------|
| 通算山行NO | No. 352C | 報告者 | 後藤隆徳 |
| 年月日 | 2007年10月07日(日・晴) | 2万5千 | 切石 |
| 山名 | 甲斐・富士見山(1640m) | | |
| 体力度=上り3・普通 技術度=3・普通 藪漕度=ない 道標=沢山ある 展望度=よい 三角点=富士見山・二等三角点 | | | |
| 不死身山に安全登山を願う | | | |
| コースとタイム | 下土狩5:00-富士-身延-切石-平須登山口発7:10-奥の院9:50-富士見山10:15~20-奥の院10:40~11:45-平須14:10-南部の湯入浴-富士-下土狩 | | |
| 標高差 | 上り=平須700m~奥の院1640m(看板標高)=約940m 下り= 同上 | | |
| 参加者 | CL・後藤隆徳、ほか2名 | | |

この山は久しぶりに訪れる山だった。会で何年前か前、忘年山行で上った。その時は矢細工からだったが、記録を調べたら「藪」が多いので、今回は平須から往復。

また、冬山も近いので「歩荷訓練」を兼ね、22Kgの荷物を用意した。平須に行く途中、古い木造の学校を見つけた。既に学校でなく、研修用などのようだ。しかし、創立は100年以上前だった。平須道は歩き易かった。下部は人工林、中部から自然林、上部稜線は再び唐



歩荷訓練

松の人工林だった。

まあまあの時間で奥ノ院着。ここから少しの上り下りで富士見山本峰へ。本峰は展望もなく極めて地味な頂。踵を返し奥ノ院で昼食。ここは地図上では1630mだが、標識は40mになっていた。

西には富士川の向こうに毛無山塊。そしてその後ろに富士山が鎮座していた。昨日、婆さんの法事で出た「ウナギ」を食す。「ビア」はなし。茶ばかりで塩梅が悪い、、、。下山後は、「南部の湯」に浸かった。割合いい湯だった。



主に観察した花

秋丁字・黄色秋桐・川緑・節黒仙翁・晒菜升麻